

## 発 言 通 告 書

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 発言者氏名   | 高橋英昭                           |
| 発言の会議   | 令和8年 9月14日 本会議                 |
| 発言の種類   | 質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他 |
| 質疑等の方式  | 一 括、 <u>一問一答</u>               |
| 答弁を求める者 | 市 長、教育長                        |

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 民泊（住宅宿泊事業等）の適正な管理と戦略的活用について

- (1) 国における法制度整備やICT活用の進展を踏まえ、本市における現在の民泊事業をどのように評価・位置づけ、今後どのような姿勢と方針で臨むのか伺う。
- (2) 市内での民泊事業の増加が見込まれる中、住環境の保護や近隣トラブルの未然防止、定住環境の維持という観点から、現時点で何らかの規制を導入する意向はあるか伺う。
- (3) 民泊を通じた空き家の再生や滞在型観光の推進というメリットを最大限に引き出しつつ、住環境や地域コミュニティーを守るための適正な規制との両立を図るため、他都市の先進事例等を調査・研究し、本市の実情に即した民泊に関する独自条例の制定に向けた準備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

#### 2 地域の担い手不足解消と生産性向上に向けた、市内各種団体及び事業者に対するICT・デジタル化・AI導入支援の在り方について

- (1) これまで本市が実施してきた市内事業者向けのICT関連補

助金、デジタル化推進補助金、A I 導入支援及び町内会・自治会等の地域団体に対するデジタル化支援の各事業について、どのように評価・分析しているのか、また今後の課題について伺う。

- (2) 人手不足が深刻化する中、社会福祉法人、N P O 法人などのその他各種法人や保護者運営の放課後児童クラブなど、これまで支援の届きにくかった多様な事業形態・団体を幅広く包含できるよう、I C T ・デジタル化・A I 導入支援の対象枠を拡充すべきと考えるが、見解を伺う。
- (3) A I 先進自治体の市長として、補助金の時限的交付と成果報告を組み合わせ、得られた実践成果を同種の事業形態へ横展開することで、本市全体の生産性を底上げしていく施策への転換について、所見を伺う。

### 3 学校統廃合の準備業務における諸課題について

- (1) 教職員が統廃合の進捗や決定事項を過不足なく正確に把握できるよう、要点をまとめたタイムリーな情報共有の仕組みを再構築すべきと考えるが、見解を伺う。
- (2) 統廃合に伴う教職員の過重負担を防ぎ、子どもたちと向き合う時間を確保するため、教育委員会として追加的な業務支援策を講じる考えはあるか伺う。
- (3) 学校統廃合を教育分野のみの課題とせず、地域全体の重要施策と位置づけ、市長部局としても教職員の負担軽減や円滑な移行に向けた支援に積極的に関与・連携すべきと考えるが、見解を伺う。